

「 川上小学校の川上踊り伝承の取組 」

1 学校名

いちき串木野市立川上小学校

2 学年・人数

4年生以上の希望者（3名），地域保存会

3 日時・場所

（1）練習の日時（場所）：8月（川上小学校校庭）

（2）発表の日時（場所）：長田神社，諏訪神社，葛城神社，川上小学校（8月23日）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

かわかみおど
川上踊り

（2）由来

今から百数十年前，五穀豊穰と平和を祈念して創始されたものと伝えられている。

毎年8月26日を踊りの日と定め，踊り続けられてきたが，戦時中から中断していた。その後，昭和39年から復活した。現在では，原則として8月末の日曜日に踊り，川上踊り保存会によって毎年行われている。

（3）構成等

踊り子は太鼓14人，鉦4人からなり，踊りは（①門係り②庭入り③庭取り④後すざり⑤荒川⑥チャンチャコ⑦ササラ⑧片セキ⑨高跳び⑩コ克蘭⑪横跳び⑫四十べ⑬サン鉦⑭楽⑮モッココンコンノヌカシ⑯回節⑰入コシ⑱庭崩⑲ツンテン

⑳唄㉑七夕㉒謝礼) の22演目がある。一踊り約40分ぐらいかかる。

5 保存会や地域との連携の具体

運営にあたっては、川上地域審議会員25人のほか神社総代・顧問等が参画する。なおこの保存会には、地域館長、集落公民館長、婦人会長その他の団体の長の参加が求められる。また、旧市来町時代（昭和36年4月）に文化財に指定されている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

以前は、文化財少年団、PTA及び川上踊り保存会が中心となって運営していたが、学校の児童数減少に伴い、現在は、川上コミュニティ協議会が運営をし、小学生は希望者を募って参加をしている。また、学校教育活動としては、高学年の総合的な学習の時間に「ふるさとを伝えよう」のテーマで川上地域の調べ学習を行い故郷の文化に親しむ学習を行っている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見（800字以内）

太鼓や鉦の踊りを覚えるのは大変だけど、兄弟姉妹または親子で一緒に踊れることを楽しみにして、踊りに参加をしている。（参加児童）

毎年、夏が来ると川上踊りの時期がきたと感じる。ふだんは静かな田園風景の中に華やかな衣装を身にまとい、太鼓や鉦の独特なリズムが響き渡る。真夏の暑さと相まって、川上踊りが地域住民の方々や子どもたちの心に川上の原風景を焼き付けている。この伝統文化が、今後とも川上地域で末永く続いていくことを心から願いたい。（保存会・教員）